



マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.7.6

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご視聴いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

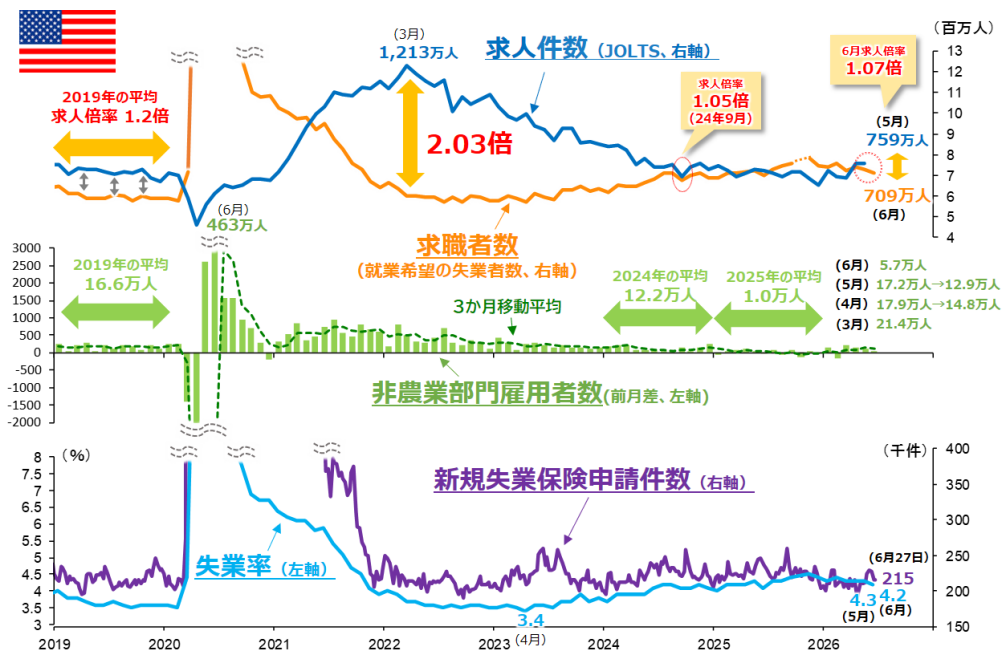
先週は、予想を下回る米雇用統計を受けて米国の利上げ観測が後退し、株式市場では出遅れている国や業種を中心に反発しました。週間騰落率はS&P500が+1.8%、ナスダック総合は+2.1%、独DAXは同+4.5%(最高値更新)、日経平均株価は同+0.6%となりました。10年国債利回りは米国が前週末比+11bpの4.49%、独は+8bpの2.94%、日本は+17bpの2.79%に上昇しました。ドル円は前週末比40銭円高の161円34銭、WTI期近は同▲0.8%の68.7ドル/バレルで引けました。

今週は、内外の長期金利の動向が注目されます。日本10年国債利回りは先週、政府の積極財政への警戒等から、約30年ぶりの高水準となる2.81%に上昇しました。政府の経済財政運営の基本方針をまとめた「骨太の方針」が間もなく閣議決定され、政府支出の内訳などが明らかになる見通しです。それを受けた国内金利の反応、及び、海外金利への波及が見られるか注視が必要です。

当面の注目イベント

- ◆ 米・6月ISM非製造業景況指数 (6日)
- ◆ グローバル 6月総合PMI (6日)
- ◆ 日・5月実質賃金総額 (7日)
- ◆ 日・日銀 地域経済報告(さくらレポート) (9日)
- ◆ 米・6月FOMC議事要旨 (9日)
- ◆ 日・6月企業物価 (10日)

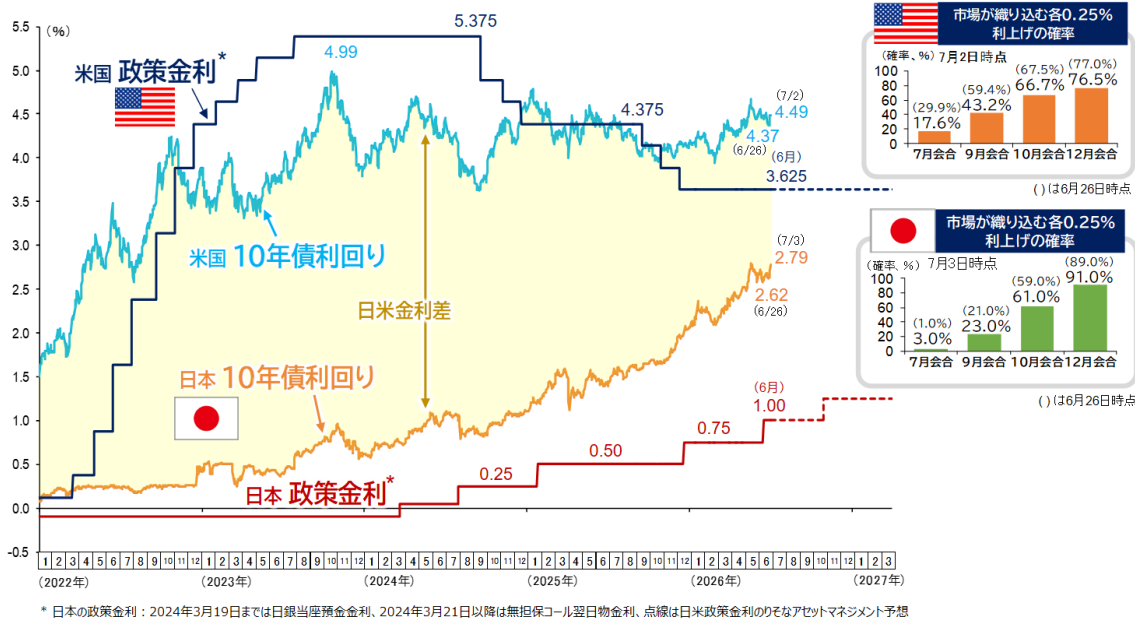
6月米雇用統計は、非農業部門雇用者数が+5.7万人と予想(+11.3万人)を大幅に下回りました。また既報の4月・5月分が計7.4万人下方修正され、米労働市場が従来考えられていたほど逼迫した状態ではないことが示されました



【出所】BLS、Haver Analyticsの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

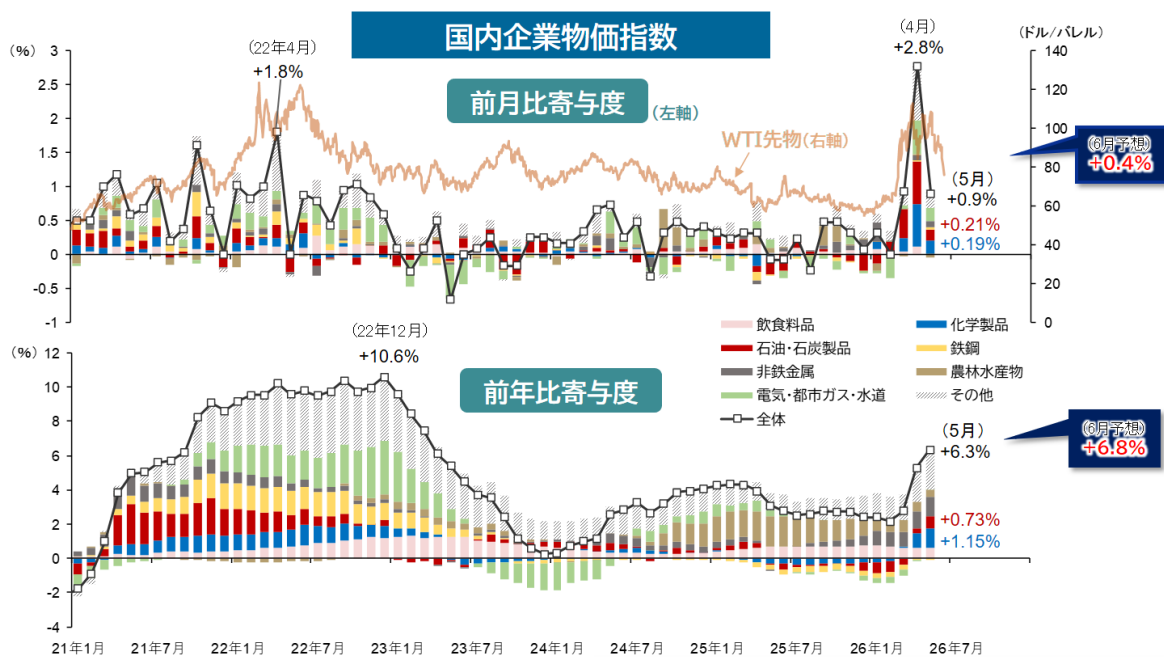
※最終ページの<当資料に関するご留意事項>を必ずご覧ください。

先週の円債市場では、拡張的な財政政策への警戒等から、10年国債利回りが一時2.81%と約30年ぶりの水準に上昇、30年国債利回りは5月央以来の4.0%超えとなりました。国内金利上昇は米国債にも波及したとみられます



【出所】東京短資、ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

10日発表の6月企業物価は、前月比+0.4% (5月+0.9%)、前年比は+6.8% (同+6.3%) と約3年ぶりの高い伸びが見込まれています。予想を上回る高い伸びとなった場合、日銀の早期利上げ観測が高まるとみられます



【出所】Haver Analyticsの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年7月13日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものではありません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。